

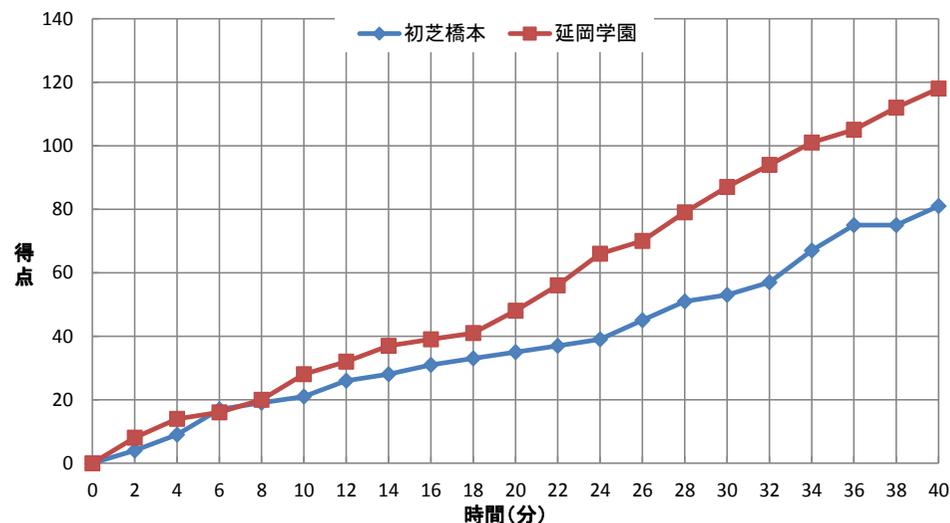


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会  
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子		平成28年7月28日		9:30 開始													
1回戦		安佐北区スポーツセンター		H													
初芝橋本	81	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>28</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>39</td></tr> <tr><td>28</td><td>4th</td><td>31</td></tr> </table>	21	1st	28	14	2nd	20	18	3rd	39	28	4th	31	118	◎	延岡学園
21	1st	28															
14	2nd	20															
18	3rd	39															
28	4th	31															
(和歌山県)				(宮崎県)													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	下畑 両平	16	4	2	0	0	* 4	水谷 慎之介	12	0	6	0	1				
* 5	池端 悠	8	0	4	0	4	* 5	SYLLA MAMADOU	20	0	10	0	0				
* 6	永尾 友弥	19	1	6	4	1	6	平尾 剣弥	6	0	3	0	1				
* 7	松原 大和	22	1	8	3	2	* 7	池浦 健太朗	8	0	4	0	0				
8	丸山 佳輝	2	0	0	2	0	8	近藤 央	2	0	1	0	1				
9	増谷 周	4	0	2	0	1	9	森 紅也	0	0	0	0	0				
10	岡 秀行	10	0	5	0	4	10	吉田 韻希	7	1	2	0	2				
11	湯浅 尚紀	0	0	0	0	1	11	米澤 協平	4	0	2	0	1				
* 12	坂本 龍平	0	0	0	0	1	12	軸屋 玲音	0	0	0	0	0				
13	大和 蒼	0	0	0	0	0	* 13	渡辺 新	9	1	3	0	3				
14	川谷 生暉	0	0	0	0	0	* 14	榎田 拓真	27	5	6	0	2				
15	下村 空里	0	0	0	0	1	15	PALANA TSHITSHIE AARON	23	0	9	5	2				
コーチ	石橋 隆文					0	コーチ	川添 裕司					0				
Aコーチ	清水 周						Aコーチ	馬場口 直人									
合計		81	6	27	9	15	合計		118	7	46	5	13				
主審: 稲田篤																	
副審: 北川祐大																	

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	8:14	16:08	23:55	35:26	:	:	:	:
TeamB	19:28	:	26:31	:	:	:	:	:

〔戦評〕  
第1P、初芝橋本は2-3ゾーンとマンツーマンを使い分けるディフェンス、延岡学園はオールコートマンツーマンでゲーム開始。序盤延岡学園は#5のリバウンドシュートや#14の速攻で得点を重ねる。対する初芝も#5のシュートや#4の3Pシュートなど1対1からの得点を重ね、5分22秒で13対14と一進一退の攻防が続く。その後も、初芝は、高いスキルを持つ#6のドライブインや#7の速攻で得点を重ねるが、延岡も#4のインターセプトや#15のリバウンドシュート、ポストプレーで確実に得点を重ね、21-28と延岡リードで終了。  
第2P、高さに勝る延岡は#15のリバウンドシュート、#4と#14の連続3Pなどで得点を重ねる。初芝も#4の3Pシュートや#6のジャンプシュート、3Pシュートで対抗。その後も両チーム得点を重ね、残り3分52秒31対39になったところで、初芝タイムアウト。しかし、初芝のシュートがなかなか決まらない。その隙を突いた延岡学園の#13の連続得点や#4の速攻などで、35対48と延岡学園リードで前半終了。  
第3P、延岡の勢いは止まらず、#14の連続3Pシュートや#5のゴール下のシュートで得点を重ねる。対する初芝も1対1を積極的に仕掛けるが、延岡の激しいディフェンスにミスが続き、残り6分05秒で39対66に点差が開いたところで初芝タイムアウト。その後、初芝も#4の速攻で対抗するも、延岡は#15の高さのあるプレーや交代して出た#10の3Pシュート、#6のドライブインなど安定して得点を重ね、37対87と延岡学園が大きくリードを広げ第3P終了。  
第4P、初芝は#7のシュートや#10の速攻、#4の3Pシュートなどで粘りを見せるも、延岡の激しいディフェンスからの速攻に苦戦した。最後までディフェンスの手を緩めず、ゴール下を制し続けた延岡学園が81対118で初芝橋本に勝利した。

戦評: 吉津孝昭

記録: 広島文教女子高校